

新型コロナウイルス感染症について

井上病院・井上文之院長が講演

「発症前から強い感染力持つ」

地域に密着した奉仕活動
を続けている「福山南ライ
オンズクラブ」（岡俊江会
長）は9月22日、福山ニュー
キャッスルホテルで例会を
開き、医療法人・達磨会「井
上病院」井上文之院長を招
き、講演会「新型コロナウイルス
感染症について」を
開いた。

冒頭、岡会長は「新型コ

ロナウイルスの正確な情報
を伝えたいので、開くこと
になった」と経緯を説明、会
員ら50人が真剣に聞き入っ
ていた。

井上院長は新型コロナウイルスの
感染拡大に合わせ何か貢献
できることはないかと、当
初コロナ感染者の治療をす
ることを考えた。ところが
現状では難しいことが分か
り、ワクチン接種なら可
能なので、院内で「ワク
チンをやるぞ」と号令を
掛け取り組んだ。

講演する井上文之院長

現在（9月22日時点）
同院では2万回弱がワ
クチンを種種（人数は半
数以下）しており、多い
日は1日650人接種
したという。

講演では「コロナウイ
ルスの問題点は、感染し
て発症する2日前から

強い感染力を持つている。
これが一番問題なのです。
本人（感染者）は元気にし
ているから、普通に人と接
する。その時にウイルスを
ばら撒いています。コロナ
の検査にPCR検査があり、
一番精度がいいとされてい

る。当院では、以前PCR
検査を東京に送っていたが、
今は院内で検査できるよう
になり、2時間で結果が出
るようになりました」など
と実情を説明した。

井上院長は、医師免許取
得後岡山大学第一外科へ入
局、米テキサス大学MDア
ンダーソン癌センター留学
を経て岡山大学外科外来医
長、広島市民病院、福山医
療センター呼吸器外科部長
を務めた。2002年井上
クリニックを開業、08年院
長に就任した。

